

就職体験談

卒業生氏名 : 賈 為一 (中国)
卒業年度 : 2021年3月
卒業学部 : 中部学院大学 人間福祉学部人間福祉学科

私は、2021年3月に人間福祉学部人間福祉学科を卒業した、賈為一と申します。今回は日本の就職についてお話ししたいと思います。

日本の就職活動は、大学3年生になると始める学生もたくさんいます。会社の説明会に行ったり、インターシップ参加したり、そして書類選考もしくは筆記や面接を受けると思います。その中で一番重要なことは大学のキャリア支援センターとの連携だと思えます。何故かという、求人情報を自分で探すことも必要ですが、キャリア支援センターでは、本学の学生向けの求人を用意し、履歴書の書き方や面接に向けて模擬面接の支援もしていただけるので、学生にとっては大変助かります。

留学生にとって就職に大切なものは、やはり日本語能力だと思えます。留学生が就職するときに(特に文系)大半の企業が採用する基準として、大学卒業プラス日本語能力試験N1取得です。実際私が今までの職場の中で知り合った外国人社員は、ほぼ全員N1を持っています。そして、できれば自動車免許を取得してほしいです。特に東海3県の会社に就職を希望する場合には、車の免許が不可欠なので、春休みを利用して自動車免許を取得することは、就職の時に本当に役立つと思えます。日本語能力N1の語学力と自動車免許を取得していれば、留学生が就職するときに、メリットになりますから、皆さん頑張ってください。

私は今、ドラッグストアで働いています。毎日の仕事はほぼ店舗の運営と薬の相談です。お客さんの大半は高齢者もしくは女性の方なので、学生時代に福祉の授業で学んだコミュニケーション技術などが役にたっています。人に接する方法や医療知識などを活かして人々の毎日の健康生活を支えています。

これから本部へ異動する予定もありますが、いろいろな分野で勉強をし、キャリアライフを体験し、自分の人生を楽しく過ごせるように頑張っていこうと思えます。